

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業採択 『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進」最新の取り組み



▼シルクロード黄金文化の道

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業の一環として、学術報告会「シルクロード 黄金文化の道」が3月2日(土)、奈良・東生駒キャンパスで開催され、200人近くの考古学ファンが会場に詰め掛け、シルクロードの悠久の歴史に思いをはせました。

本報告会では、宇野隆夫客員教授が2018年9月、調査責任者としてウズベキスタンのシルクロード遺跡「カフィール・カラ城」で発掘した金製の装身具の詳細が世界で初めて公開されました。ソグド人の王族が身に着けていた8世紀初期のものと考えられる装身具は、アフガニスタンのシバルガン遺宝や斑鳩町の藤ノ木古墳で出土した副葬品との類似性からも、シルクロードでは東西だけでなく南北での交流が活発であったことがうかがえる貴重な資料です。

宇野客員教授は2017年にも同域で、正倉院宝物である楽器の琵琶や篋篋と同じものが描かれたゾロアスター教の板絵を発見し、中央アジアが日本への文化伝達ルートにおける重要な地域であったことを明らかにしましたが、今回の装身具はその仮説をさらに強固に裏付ける大発見となりました。

▼三郷町共催講演会について

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業の一環として、帝塚山大学と奈良県生駒郡三郷町との共催講演会「法隆寺の瓦を求めて〜聖徳太子と古代の三郷〜」が平成31年3月23日、三郷町文化センターで開催され、歴史ファンら約200人が参加しました。

この講演会は、私立大学研究ブランディング事業で推進する「帝塚山プラットフォーム」の構築による学際的『奈良学』研究の推進の一環として本学考古学研究所が取り組む「聖徳太子関連遺跡の研究」の研究成果を公開する目的で実施したものです。

三郷町には古代豪族の平群氏が建立した平隆寺や飛鳥時代に法隆寺や中宮寺の瓦を焼成した窯跡があります。講演をおこなった本学文学部の清水昭博教授(考古学研究所長)は、遺跡の出土瓦から古代の三郷が聖徳太子と深い関係にある地であったことを報告しました。



三郷町共催講演会

▼ならコープの宅配夕食 「帝塚山の日」弁当をあかね祭で

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業の一環として、4月21日、本学あかね祭において、コープの夕食宅配コースなどフードサービス事業を幅広く手掛けている(株)味の和路と佐伯ゼミのコラボ第5弾、奈良の食材を使った春のコーポ弁当「2019」春祭弁当を販売しました。

春の食材をはじめ、五つの味(春の食材、大和野菜、和洋、中)が楽しめる、大和の伝統野菜である「大和まな」が入っているポリニウムも栄養もあるお楽しみ弁当になっています。

佐伯ゼミの活動では、健康な生活には食生活からモットーに、食に対する正しい知識と理解を深め、日々の食事をよりよくするためのアドバイスや健康な食生活の提案を行っています。さらに、幼稚園での食育や高齢者向けのお弁当メニューの開発、料理教室「大和野菜」を知ろう!など、地域交流も行っています。また、今回共同開発した(株)味の和路の担当者には本学卒業生であり、ここにも帝塚山ファミリアの絆がみられます。



佐伯ゼミ



春祭弁当

一般公開

本学では、多くの所蔵品を学外機関と連携して一般公開しています。

JOYOエコミュージアム令和元年度夏季特別展

(共催：城陽市歴史民俗資料館)

開催期間

令和元年7月6日(土)
～令和元年9月8日(日)

主な本学所蔵品

メデューサ頭飾アンティフィックス
など▶詳細はP14参照



島本町立歴史文化資料館企画展

(共催：島本町教育委員会)

開催期間

令和元年10月2日(水)
～令和元年12月1日(日)

主な本学所蔵品

「東大寺大仏殿」
軒丸瓦、軒平瓦など

東大寺銘軒丸瓦▶



東大寺銘軒平瓦▶



秋季特別展

「絵と道具でたどる昔の奈良の暮らし

—永井清繁氏のスケッチ帖から—

(共催：奈良県立民俗博物館)

開催期間

令和元年9月21日(土)～令和元年12月1日(日)
展示解説…11月16日(土)、17日(日)

主な本学所蔵品

本学出版会発行『奈良山里の生活図誌』より
パネル展示